

**【施策評価調査】**

施策名	1-2-2	主要幹線道路の整備促進		74	利便性の高い道路網の実現を目指して、地域高規格道路*（国道408号）、県道北高根沢氏家線の延伸、県道花岡狭間田線など主要幹線道路の工事着工を関係機関に要請します。
		高根沢町地域経営計画2006	該当ページ		
担当部課	建設産業部都市整備課	担当	都市整備担当		利便性の高い道路網の実現を目指して、地域高規格道路*（国道408号）、県道北高根沢氏家線の延伸、県道花岡狭間田線など主要幹線道路の工事着工を関係機関に要請します。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）
		リーダー	阿久津 靖		
環境変化					

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：主要幹線道路整備進捗率（%）	平成16年度までの整備進捗率（国・県道11路線中8路線が完成）	計画	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	81.8%
	72.7%	実績	72.70%	72.70%	72.70%		
指標：走行時間の短縮（%）		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費（傘下事務事業費計）の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	99,000	99,000	99,000	90,000	90,000
	決算	98,440	99,080	96,070		

**事務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標（アウトプット）	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？（アウトカム）	今後の方向性（総合評価）	
主要幹線道路要望事業費	H21 現計 90,000	要望路線数	主要幹線道路である国・県道が整備されることにより、生活圏の広域化に伴う近隣市町へのアクセスや広域道路網の形成に寄与できる。		条件付継続
	H22 計画 90,000				
	H21 現計				今後の方向性（総合評価）
	H22 計画				今後の方向性（総合評価）
	H21 現計				今後の方向性（総合評価）
	H22 計画				今後の方向性（総合評価）
	H21 現計				今後の方向性（総合評価）
	H22 計画				今後の方向性（総合評価）

**施策事前評価 22年度の組立て**

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	利便性の高い主要幹線道路の整備により、周辺自治体や都市圏へのアクセスが向上することで、通勤通学の交通を円滑にするとともに、町の産業経済政策の実現に寄与する。	
現状水準維持			
総合評価	<b>総合評価</b> 整備要望していく路線がどのような整備効果があるのか、よく検証していくとともに、関係機関とともに、住民に対して十分な説明すること。後期計画に向け、事業内容を検証した上で他の施策との統合、廃止など施策の舵切りをすること。		